

2008 年度 地域経済研究会

会 員 紹 介

本年度会員の業績紹介です。

池島 祥文 (京都大学大学院)

【学会報告】

「途上国農業開発における国連機関と多国籍アグリビジネスの協同モデル—FAO 産業協同プログラム(ICP)を事例に—」政治経済学・経済史学会秋季学術大会、静岡大学、2007 年 10 月。

Yoshifumi Ikejima and Shuji Hisano, "Rediscovering Locality? A case of traditional vegetables in Kyoto", Tailoring Biotechnologies, Kyoto, Japan, November 2007.

Yoshifumi Ikejima and Shuji Hisano, "Commodification of Local resources and its Paradox -A case of traditional vegetables in Kyoto", XII World Congress of Rural Sociology of the International Rural Sociology Association, Goyang, Korea, July 2008.

岩佐 和幸 (高知大学)

【共著】

「東南アジアのバイオ・バイオディーゼル」坂内久・大江徹男編『燃料か食料か—バイオエタノールの真実—』日本経済評論社、2008 年。

【論文】

「東南アジアにおける輸出指向型農業とアグリビジネス—マレーシアのバイオ油関連企業を中心に—」『高知論叢』第 91 号、2008 年。

大貝 健二 (京都大学大学院)

【論文】

「燕産地の金属加工産業集積の構造変化と研磨業の再編」『地域経済学研究』18 号、2008 年。

「京都経済の現状とこれからの展望」(社) 京都自治体問題研究所『京都自治研究』創刊号、2008 年 6 月。

【報告書・小論ほか】

「大東市工業集積の形成過程—都市問題の顕在化と受入側の基盤整備を中心に—」工業集積研究会『大東市住工混在地域実態調査報告書 産業集積編』、2008 年。

「第 8 回、第 9 回京都市中小家同友会景況調査報告書」2008 年 5 月、11 月。

【学会報告】

「国内地場産業産地の環境変化への対応の相違—岐阜県関刀物地場産業産地を中心に—」日本中小企業学会西部部会、大阪経済大学、2008 年 7 月。

織原 泰 (京都大学大学院)

【口頭報告】

「地域開発と企業誘致」2008 年 2 月 28 日、現代資本主義研究会 (日本科学者会議大阪支部)。

「地域経済をめぐる論点」2008 年 3 月 24 日、現代資本主義研究会 (日本科学者会議大阪支部)。

小山 大介 (京都大学大学院)

【学会報告】

「米国ベンチマーク・サーベイによる多国籍企業関連貿易の時系列分析—多国籍企業による企業内貿易の深化 (1966—2004 年)—」政治経済学・経済史学会秋季学術大会、静岡大学、2007 年 10 月。

相楽 美穂 (立命館大学非常勤)

【論文】

「ある森林 NGO の 20 年の軌跡—その設立、活動の意味」『林業経済研究』、2009 年 3 月号。

関根佳恵 (京都大学大学院、学術振興会特別研究員)

【論文】

「多国籍アグリビジネスによる地域農業への参入と撤退—ドール・ジャパンの国産野菜事業を事例として—」『農林業問題研究』63 号。

【小論】

「多国籍アグリビジネスの新たな経営戦略—グリーン・キャピタリズムを掲げるドール社」季刊『at(あつと)』9 号、太田出版、2007 年 10 月。

【学会報告】

Kae Sekine & Shuji Hisano, "Can Agribusiness Intervention Help Japanese Farmers Out of the Crumbling Rural Economy? A Case Study of Dole Japan's Fresh Vegetable Business" RC40 Mini-Conference, Wageningen: Neerland, August, 2007.

Kae Sekine, Jean-Pierre Boutonnet and Shuji Hisano, "Emerging 'Standard Complex' and Corporate Social Responsibility of Agro-food Businesses: A Case Study of Dole Food Company", 3rd Fair Trade International Symposium, Montpellier, France, May, 2008.

高山 一夫 (京都橋大学)

【共著】

「日米医療制度の現状」杉田米行編『日米の医療』大阪大学出版会、2008 年。

【論文】

「米国非営利病院の公益性に関する考察 (1)」『京都橋大学研究紀要』34 号、2008 年。

「米国医療の営利化と公立病院の役割」『公営企業』、2008 年 9 月号。

【報告書、小論ほか】

「医療費の伸びは抑制できるか」『月刊保団連』、2008 年 2 月号。

「アメリカの医療改革動向」『経済』、2008 年 4 月号。

「人間ドック助成の不当削減は許されず」『沖繩タイムズ』、5 月 18 日号。

徳永 昌弘（関西大学）

【論文】

「シベリアにおける社会主義工業化—ロシア後背地の変貌と実像」『比較経済体制研究』、第14号、2008年。

【学会報告】

「シベリアにおける社会主義工業化の展開—東シベリア・アンガラ川流域開発を中心に—」政治経済学・経済史学会秋季学術大会、静岡大学、2007年10月。

名和 洋人（京都大学大学院）

【論文】

「アメリカ合衆国における水力統制政策の展開（1880年—1940年）：連邦動力委員会の分析を中心に」*Kyoto University Economic Society Ph.D. Candidates' Monograph Series*, No.200806149、2008年6月。

【学会報告】

「アメリカ合衆国における水力統制政策の展開（1880-1930）：拡大する連邦管理権限とその帰結」政治経済学・経済史学会近畿部会、大阪経済大学、2008年3月。

倪 卉（京都大学大学院）

【論文】

「中国蚕糸業の展開と現状—浙江省と江蘇省の事例を中心に—」『調査と研究』第35号 pp.42-63、2007年10月。

【学会報告】

Ni Hui, “Regional Shift in The Sericulture Industry and Transformation of The Rural Economy in China”, Asia Rural Sociology Association 2007, SanHe, China, August, 2007.

「中国西南部地域における蚕糸業の発展—広西壮族自治区の事例—」, 日本農業経済学会, 宇都宮市, 2008年3月。

Ni Hui and Shuji Hisano, “Development of Contract Farming in Chinese Sericulture and Silk Industry”, XII World Congress of Rural Sociology, Goyang, Korea, July, 2008.

西堀 喜久夫（九州国際大学）

【著書】

『現代都市政策と地方財政-都市公営事業からコミュニティ共同事業への発展』桜井書店、2008年。

三輪 仁（京都大学大学院）

【論文】

「わが国初の地方自治体による民間放送局設立運動—姫路市放送局を中心として—」『マスコミュニケーション研究』第72号、2008年。

横山 隆（八尾市役所）

【学会報告】

「八尾市の産業振興政策について」日本地域政策学会全国研究大会、中京大学、2008年7月。